



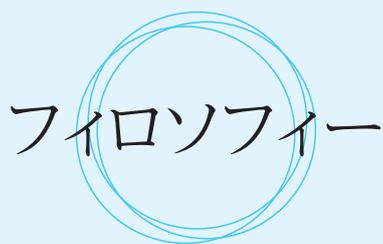
JFA Academy FUKUSHIMA

JFAアカデミー福島

2016

JFAエリートプログラム





常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成する。

日本サッカー協会では、2005年1月1日に、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する」という理念を実現するために、『JFA2005年宣言』を行いました。その中で2050年までには日本でのFIFAワールドカップの開催と優勝という明確な目標『JFAの約束2050』を掲げました。また、その目標に向けて2030年までに達成すべき新たな目標として、2030年にはサッカーファミリーが800万人に、FIFAワールドカップに出場し続けてベスト4に、これらを達成するために世界でトップ3の組織になるという『JFAの目標2030』を設定しました。

私たちは、現代の日本であまり使用されることのない「エリート」という言葉を使っています。「エリート」という言葉は日本の中では抵抗感が強く、根付いて来なかった概念であり、誤解を招きやすい面がありますが、本来の意味を重視し、敢えて使用しています。本来、「エリート」とは特権階級を指すものではなく、社会の各分野でのリーダーであり、むしろ先頭に立って闘いに行く存在、社会に対する責任を果たす存在を指すものなのです。

私たちはサッカー界で、真の意味でのエリートとなる人材を育てたいと思っています。それがサッカーの場面でも必要とされる判断力やリーダーシップの向上に大いにプラスになると考えていますし、また、サッカー界あるいはそれを越えた社会で将来的にリーダーとなりうる人材を育成したいと考えています。リーダー不在、判断力不足は、現代の日本社会の大きな社会問題であるとも言えます。

サッカーという競技の特徴を把握した上で、子どもの発育発達の特徴を研究し、「長期的視野に立った育成」という観点から、それぞれの年代の特徴に最適な環境・指導を与えることが重要です。子どもは小さな大人ではなく、年齢に比例して一直線に成長していくわけでもありません。それぞれの年代にやるべきことをやって最終的な成長へと導いていくことが重要です。これは日本サッカー協会の育成の非常に大きなテーマです。

JFAアカデミーでは「世界トップ10を目指した個の育成」「世界基準を日常に」をキーワードとし、あくまでも個の育成を目的とします。ロジック形式による中高一貫教育により、能力の高い者に良い指導、良い環境を与え、長期的視野に立ち、集中的に育成しています。

また、サッカーはもちろん、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材、JFAのフィロソフィーでもある、常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間の育成を目的とします。才能を持つだけでは、必ずしも開花するとは限りません。才能を持つ者に良い環境を与え、本人の努力を伴わせることにより、世界に通用する選手を育成します。「世界基準」で日本をリードし、サッカーのみならず、広くスポーツ界、社会全体に発信できる、トータルなリーダーシップをそなえた人材の育成を目指しています。



この5つの言葉の真の意味を自分の言葉で言える「自立した個人」を育成します。

わたしたちには
夢があります



On the Pitch

トレーニングコンセプト「世界基準の個の育成」

6年間の長期一貫指導教育の中で、年代に即した育成を途切れなく徹底していきます。

U-15

個性を輝かせるための基本となるテクニックの質を高め、サッカーの原理原則を理解し、習慣化し、仲間との関わりを質を高めていきます。

U-18

サッカーのベースを備えた自立した個人であり、チームの中で個性を輝かせることのできる選手を目指します。

ゲーム環境

男子中学生は3カテゴリー、高校生は2カテゴリーの5カテゴリーに分けてトレーニングを行い、試合に参加します。

女子中学生と高校生の2カテゴリーに分かれてトレーニングを行い、プレナスチャレンジリーグには1チームで出場します。

■参加大会（予定）

	中学生	高校生
男子	○高円宮杯全日本ユース (U-15) 選手権大会 ○日本クラブユース選手権 (U-15) 大会 ○U-15, U-13 東海リーグ 等	○高円宮杯 U-18 プリンスリーグ 東海 ○日本クラブユース選手権 (U-18) 大会 ○静岡県 U-18 リーグ 等
女子	○全日本女子ユース (U-15) 選手権大会 ○U-15 なでしこアカデミーカップ 等	○プレナスチャレンジリーグ ○皇后杯全日本女子選手権大会 等



海外遠征・研修プログラム

世界基準のサッカーを体験すること、そして、海外の歴史、生活、教育、スポーツ、自然などの文化に触れることで世界を身近に感じることが目的としています。



男子		
中学2年生	中学3年生	高校2年生
海外遠征 (アジア)	海外遠征 (ヨーロッパ)	
女子		
中学生		高校1・2年生
海外遠征(アメリカ)		海外研修(ヨーロッパ)

代表活動

各年代の代表選手も多数輩出しています。



2015 AFC U-16選手権予選
青木 心・菊地 健太・野末 学(8期生)



2015 AFC U-19女子選手権
北川 ひかる(5期生)

男子		
2015	AFC U-16選手権予選	3名
2014	AFC U-16選手権	1名
2013	AFC U-19選手権予選	1名
	AFC U-16選手権予選	1名
	AFC U-14選手権予選	2名
2012	AFC U-19選手権	1名
2011	FIFA U-17ワールドカップ(メキシコ)	1名
2010	AFC U-16選手権	1名
2009	FIFA U-17ワールドカップ(ナイジェリア)	1名

女子		
2015	AFC U-19女子選手権	1名
	AFC U-16女子選手権	4名
2014	FIFA U-17女子ワールドカップ(コスタリカ)	4名
2013	なでしこジャパン	1名
	AFC U-19女子選手権	5名
	AFC U-16女子選手権	5名
2012	FIFA U-17女子ワールドカップ(アゼルバイジャン)	7名
2011	AFC U-19女子選手権	3名
	AFC U-16女子選手権	6名
2010	FIFA U-17女子ワールドカップ(トリニダード・トバゴ)	5名

サポート体制

世界で戦える選手になるためにセルフコンディショニングを基礎として、育成年代に必要な動き作り・身体作りを指導・サポートしています。

■メディカルサポート・フィジカルコンディショニング

トレーナーを中心に、メディカルチェック・傷害予防・身体づくり（ランニングコーディネーション、コアトレーニング、ファンクショナルトレーニング）を行います。

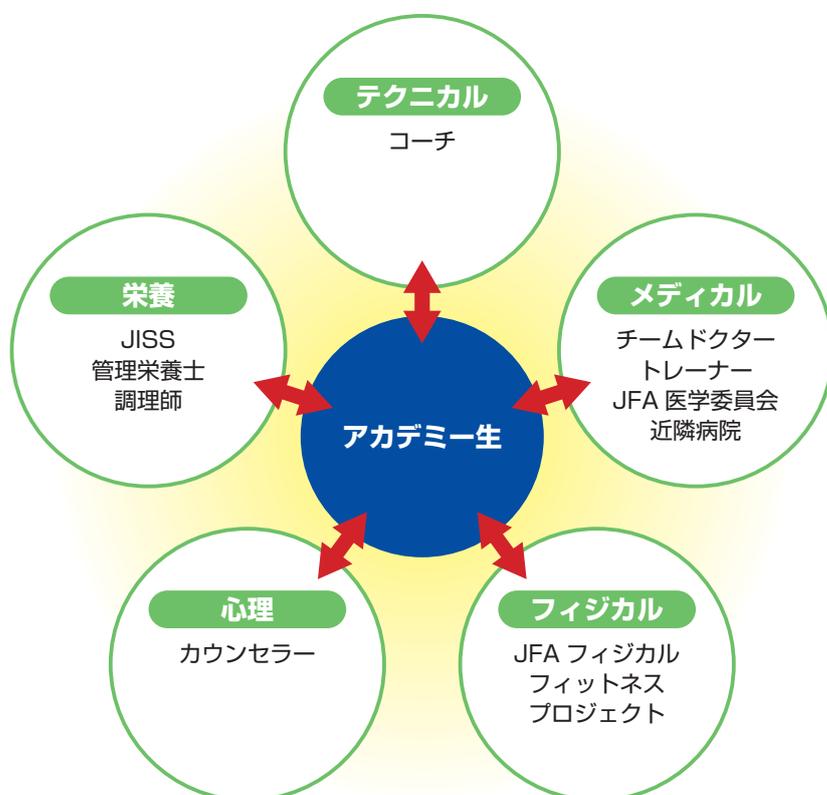
A代表やオリンピック代表にも帯同するアスレティックトレーナーや「JFAフィジカルフィットネスプロジェクト」メンバーも定期的に指導しています。

■メンタルケア

カウンセラーを中心に選手の心理的サポートを行います。

■栄養サポート

JISS、管理栄養士、調理師にご協力いただきながら、食事のとり方や栄養についての指導をしています。



スタッフ

※過去の経歴・指導歴(役職、保有ライセンスは2016年3月末現在のものです)

 <p>スクールマスター 小池 征 福島県サッカー協会会長</p>	 <p>テクニカルダイレクター 須藤 茂光 (元日本代表) JFA 公認 S 級ライセンス ※ U-17 日本代表コーチ (99-01) U-16 日本代表監督 (01-02)</p>	 <p>男子チーフコーチ 中田 康人 JFA 公認 S 級ライセンス ※ U-16 日本代表コーチ (03) U-15 日本代表コーチ (05)</p>
 <p>U-18 トップ監督 山尾 光則 JFA 公認 S 級ライセンス</p>	 <p>U-18 チャレンジ監督 廣山 望 (元日本代表) JFA 公認 A 級ジェネラルライセンス The FA International Licence</p>	 <p>U-18 GK コーチ 佐野 智之 JFA 公認 GKB 級ライセンス</p>
 <p>U-15 監督 船越 優蔵 JFA 公認 A 級ジェネラルライセンス</p>	 <p>U-14 監督 松岡 仁司 JFA 公認 A 級ジェネラルライセンス</p>	 <p>U-13 監督 藤代 隆介 JFA 公認 S 級ライセンス</p>
 <p>U-15 GK コーチ 加藤 好男 (元日本代表) JFA 公認 S 級ライセンス UEFA B ライセンス ※ 日本代表 GK コーチ (99-10) タイ代表 GK コーチ (13-14)</p>	 <p>女子チーフコーチ 沖山 雅彦 JFA 公認 S 級ライセンス ※ ヨルダン女子代表監督 (12-14)</p>	 <p>U-18 監督(女子) 木村 リエ (元日本代表) JFA 公認 A 級ジェネラルライセンス</p>
 <p>U-15 監督(女子) 見汐 翔太 JFA 公認 A 級ジェネラルライセンス ※ U-17・U-20 日本女子代表 テクニカルスタッフ (06-13)</p>	 <p>コーチ(女子) 八鍬 晶子 JFA 公認 A 級ジェネラルライセンス</p>	 <p>GK コーチ(女子) 加藤 竜二 JFA 公認 A 級ジェネラルライセンス GK-A 級ライセンス</p>
 <p>トレーナー 安藤 貴之</p>	 <p>トレーナー 赤羽 達也</p>	 <p>トレーナー 檜山 里美</p>
 <p>トレーナー 中條 智志</p>	 <p>総務 堤 葉子</p>	 <p>総務兼選手管理 関輪 圭太</p>
 <p>総務兼選手管理 時實 俊輔</p>	 <p>総務兼選手管理 原賀 はづき</p>	

Off the Pitch

サッカーは多くの仲間との関わりが必要で、ボール扱いが上手いだけでは良い選手とは言えません。ピッチで起きるさまざまなことに対応し、出てきた問題を自分たちで解決できる、自立した個人に成長していくために、ピッチ外での人間的な教育を重視しています。

学習・実習プログラム

- 【学習】 ▶ 英会話 ▶ 公文式 ▶ 学習サポート ▶ 東進ハイスクール在宅受講コース 等
- 【実習】 ▶ ロジカルコミュニケーションスキル ▶ ボールパーソン ▶ マナーセミナー ▶ 富士清掃登山 ▶ 自衛隊研修 ▶ ASE ▶ 相撲部屋実習 ▶ 労作体験（稲作等） ▶ 健康教育 ▶ AED講習 ▶ 地域行事参加（時之栖イルミネーション作成、サッカー教室開催、わらじ祭、みしまサンバ等） 等



わらじ祭り

▶ 英会話

世界で活躍できる人材の育成の一環として英会話プログラムを導入しています。少人数制で会話の機会を増やすことにより、海外遠征など他国選手との交流時に活用できるよう取り組んでいます。

▶ 公文式学習

一人ひとりの能力に応じた教材による中学生対象の学習プログラムです。主に数学の教科を学習しています。日々の学習時間に「自学自習」形式で取り組み、自ら学習する意欲や集中力を高めます。

▶ 東進ハイスクール在宅受講コース

学力の向上、さらに大学受験対策としての高校生対象の学習プログラムです。インターネットにより在宅（寮）にて受講することができ、多数の講座から選択する個別カリキュラムにて学習に取り組みます。



富士登山



相撲部屋実習



ロジカルコミュニケーションスキル

▶ロジカルコミュニケーションスキル

つくば言語技術教育研究所の講師による「聞く・話す・読む・書く」の言語トレーニングを通して、論理的に組み立てる思考力や分析力、人前で話す能力や議論をするための能力などを身につけます。これは日常での他者との会話に生かすだけでなく、一瞬の判断が求められるサッカーの試合中にも活用できるよう取り組んでいるプログラムです。

▶マナーセミナー

NPO 法人マナー教育サポート協会の講師より挨拶、言葉遣い、食事、手紙の書き方などを学びながら、マナーの本質とは何かを考え、他者への思いやり、感謝の心を育みます。



マナーセミナー

▶ASE (Action Socialization Experience)

一人では解決できない課題を、グループで協力して克服・解決する活動で、協調性や相互理解を育みます。



ASE

▶労作体験

勤労・忍耐力・奉仕などの道徳的価値の育成を重視した、人間形成を行うプログラムです。稲作などの労作体験を通して、地域の方々との交流も大切にしています。

▶ボールパーソン

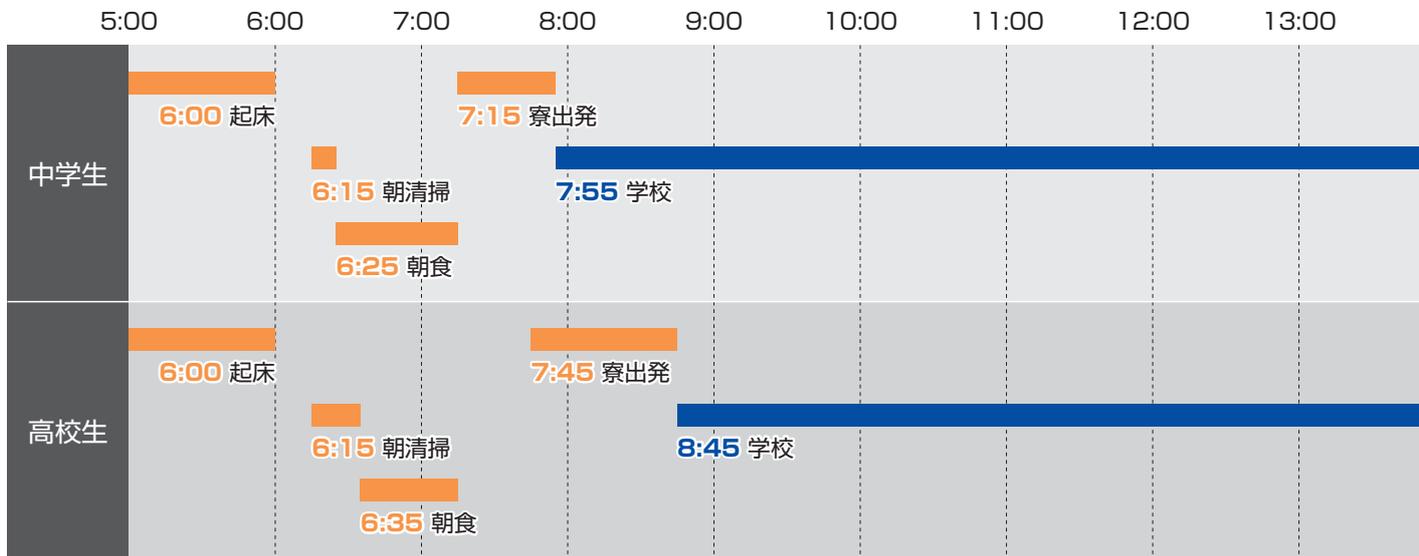
SAMURAI BLUE やなでしこジャパンなどの日本代表の国際試合で、試合運営をサポートする役割を担います。多くのスタッフの支えにより試合が運営されていることを知る、また代表選手を身近に感じることで自分の将来を強く意識するきっかけになります。



労作体験

Academy Life

平日基本スケジュール



学校教育は、福島県、富岡町、広野町、楡葉町の協力により、6年間の連携型中高一貫教育が行われます。しかし、2011年3月11日の東日本大震災により福島県内での活動が不可能になりました。そのときに私たちを助けてくださったのが御殿場市を始めとする静岡県の皆様です。

現在、男子は「御殿場高原 時之栖」、女子は「帝人アカデミー富士」にてロジング（寄宿生活）を行っています。

	男子	女子
寮	御殿場高原時之栖（御殿場市）	帝人アカデミー富士（裾野市）
中学校	御殿場市立富士岡中学校	裾野市立富岡中学校
高校*	福島県立ふたば未来学園高等学校（現高3：福島県立富岡高等学校） （福島県立富岡高等学校は平成27年度より生徒募集を停止し、平成28年度で休校となります。）	

*福島県と静岡県との学校間連携により単位互換が認められ、静岡県立三島長陵高等学校に通学しています。





進路の見直しについて

6年間の中高一貫による長期的な教育を基本としますが、中学3年間が終了する際に一度、進路に関する検証を本人・家族・指導者で行います。また、様々な理由により適応が困難な場合は、その都度、選手にとって最良の方法（進路の見直しを含めて）をJFAで判断します。



卒 校 生 コ メ ン ト



平澤 俊輔【2期生】(2013年3月卒校)
早稲田大学

みなさん、こんにちは。二期生の平澤俊輔です。私は現在、早稲田大学に進学し、大学サッカーを舞台にしてプレーしています。JFA アカデミー福島を卒校してから三年がたちますが、私のプレーのベースとなっているもの、そして人としての立ち居振る舞いはアカデミーでの六年間によって築き上げられたと言えます。卒校して、本当にこの六年間はあっという間でとても濃い時間だったと改めて感じました。素晴らしい環境でサッカーができ、素晴らしい指導者の方々やプログラムによってサッカーだけではなく、人として世界に通用するための多くの経験をすることができました。そして何より六年間共にする素晴らしい仲間・ライバルに出会えました。本当にかけがえのない日々がJFA アカデミー福島にはあります。ただ、今あなたが持っている夢をかなえるのはJFA アカデミー福島ではありません。指導者の方々やプログラムではありません。全ては自分自身です。私の先輩や同期、後輩でプロや海外で活躍している人はこの六年間で人とは違う努力をしていました。私自身はその努力が足りなく卒校の時点では夢には届きませんでした。今は入校の時に抱いた夢に向かって大学でより一層の努力をしています。みなさんに伝えたいことは今抱いている夢へ向けて、本気で向き合ってほしいということです。自分は果たして夢をかなえられるのか、夢をかなえるためには何をしなければいけないのかを考え続けてください。そしてJFA アカデミー福島のフィロソフィーを胸に自分を信じて夢を追い続けてください。

みなさんは福島県・広野町、楡葉町、富岡町、静岡県・御殿場市の方々、それぞれの地元の友人、そしてJFA アカデミー福島に送り出してくれた家族の応援や期待が多く寄せられると思います。そのことに対して感謝を忘れることなく、エネルギーに変えて大きく成長して行ってください。



安東 輝【3期生】(2014年3月卒校)
湘南ベルマーレ (ツエーゲン金沢に期限付移籍中)

私はJFA アカデミー福島3期生の安東輝です。

私はアカデミーに入校してよかったと思っています。その理由は2つあります。

1つ目は、サッカー面での成長です。私はアカデミーに入校する前は、プレーに自信がなくあまり目立つような選手ではありませんでした。しかし、素晴らしいスタッフの皆さんと最高の環境でトレーニングすることで、毎日自分のテクニックの向上を実感しながら成長することができました。今でもプロサッカー選手としてサッカーを続けられているのもアカデミーのたくさんのサポートがあったからだと思います。2つ目は素晴らしいスタッフの方々との出会えたことです。スタッフの皆さんは私の第二の父母と呼べる存在です。どんな時でも情熱的に指導していただきました。最も印象に残っているのは「物事の根本を見つめ直さない」と指導して頂いたことです。この言葉は今でも私の中で問題に直面した時の助けになっています。このようにアカデミーではサッカーだけに限らずたくさんの事を学べる場所だと思います。とはいえ、アカデミーに入校できたからといって確実に人間力が上がった、プロサッカー選手になれるわけではありません。大切なのは選手の学ぼうとする姿勢と、ご両親のサポートだと思います。

アカデミーでの6年間は間違いなく刺激的な時間になると思います。是非チャレンジしてみてください。



菅澤 優衣香【1期生】(2009年3月卒校) ジェフユナイテッド市原・千葉レディース

私はJFAアカデミー福島の1期生として高校1年生～高校3年生までの3年間という短い期間ですが、在籍していたアカデミーでたくさんの事を学びました。

サッカーでは充実した環境で、基本的な事から、更にスキルの高いトレーニングを中高生年代から学ぶ事ができ、今では、なでしこリーグ、なでしこジャパンで活躍できる原点になっています。

また、サッカー以外にもアカデミーならではのプログラムがあり、コミュニケーションスキル、英会話、礼儀作法、当時のホームタウンである福島県楢葉町の方々と交流をするなどたくさんの経験をしました。

その中でも私は、コミュニケーションスキルを通して、サッカー選手としてインタビューの受け答えができるようになり、また現在社会人としての生活の中で、学んだ事が活かしていると実感しています。

アカデミーでの生活は、慣れない寮生活で不安や大変な事もありましたが、今では、そこでの生活で学んできた事があったから、人として、そしてサッカー選手としても大きく成長する事ができたと感じています。

そして、同じ目標を持った仲間と共に過ごした時間はかけがえのないものになり、自分自身の財産になりました。

是非、アカデミーで同じ目標を持った仲間と、人として、そしてサッカー選手として成長できる貴重な時間を過ごしてみてください。



村上 ひかる【1期生】(2011年3月卒校) 会社員(スポーツイベント企画運営)

13歳でJFAアカデミー福島に入校してから、在籍中も卒校後の今も私の中で生き続けている言葉があります。それは当時、私がまだアカデミー生だった頃のヘッドコーチが常日頃、私達に言い聞かせてくれた、「やるかやらないかはあなた次第」という言葉です。アカデミーには選手としても、一人の人間としても大きく成長できるだけの充実した環境や施設、そしてサッカー以外での様々なプログラムがあります。日々の質の高い練習や志の高い仲間との日常生活はもちろんのこと、その中でも私がアカデミー生活の中で最も印象に残っていることは「海外遠征」です。異国の地でプレーをしたり、自ら英語で現地の方々とコミュニケーションを取ったり、どの海外遠征もとても刺激的でした。アカデミーでのこの経験があったからこそ私は、国内だけでなく海外をも選択肢に入れることができ、卒校後のアメリカ大学進学を決意することができました。また、海外遠征以外にも様々な分野の方の講演を聞いたり、マナーセミナーで作法を習ったりなど、他では到底成し得なかったであろう人との出会いや体験を通して、今までになかった価値観や世界観を広げることができました。これほど多くの貴重な経験を、中学・高校という一番多感な時期に得られたことは、私にとって他の何ものにも代え難い財産になったと自信を持って言えます。

私がアカデミー生活の中で学び、自身の教訓として最も大事にしていることが一つあります。それは、「受け身ではなく、常に自ら考えて行動を起こす」ということです。はじめのコーチの言葉でもあるように、どんな環境にしようとも、そのチャンスを生かすも生かさぬも自分次第で、取り組み方によって如何様にもなるということです。私は大学卒業後、社会人になる道を選びました。しかし、アカデミーで培ったものはサッカーの戦術や技術だけでなく、一人間として大きく成長させ、人生の糧となっていると確信しています。

年間の費用について

活動費に含まれるもの

- ▶ 寮生活に関わる費用、1日2食
(平日の昼食は各自負担)
- ▶ アカデミー活動に係るサッカー用具
(ウェア類、スパイク、ランニングシューズ等)
- ▶ JFAが行うプログラム費用
- ▶ 国内大会参加費、遠征費用
- ▶ 海外遠征費用
- ▶ アカデミー活動中における怪我の治療費
(疾病は各自負担)

活動費

6年間にかかるすべての費用のうち、一部を活動費として月額8万円を納入。(別途入学手続き金(20万円)が入学時に必要になります。【参考】初年度費用 計116万円)

減免・救済制度

経済的な理由により、活動費の支払いが困難と認められる家庭に対し、活動費の減免、もしくは救済(活動費の全額を免除)する制度を設けております。

特待制度

入校後、サッカーおよび学業において、優秀な成績を修めている選手に対し、特待制度(活動費の減額)を設けております。

卒校生の進路先一覧

卒校した選手たちは、次の舞台へと活躍の場を移しています。

(※進路先は卒校時)

男子

- | | | | |
|------------------------|------------------------|----------------------------|---------------|
| ▶ FC東京 | ▶ 大分トリニータ | ▶ ファジアーノ岡山 | ▶ ヴァンフォーレ甲府 |
| ▶ 清水エスパルス | ▶ 湘南ベルマーレ | ▶ アビスパ福岡 | ▶ AC長野パルセイロ |
| ▶ レノファ山口 | ▶ モナルカス・モレリアU-20(メキシコ) | | ▶ ディジョン(フランス) |
| ▶ ボナーSC(ドイツ U-19アマチュア) | | ▶ 1860ミュンヘンU-19(ドイツ アマチュア) | |
| ▶ メリーランド大学 | ▶ 愛知学院大学 | ▶ 青山学院大学 | ▶ 大阪経済大学 |
| ▶ 神奈川大学 | ▶ 関西大学 | ▶ 九州共立大学 | ▶ 京都産業大学 |
| ▶ 近畿大学 | ▶ 高知大学 | ▶ 神戸大学 | ▶ 国士舘大学 |
| ▶ 順天堂大学 | ▶ 仙台大学 | ▶ 筑波大学 | ▶ 中央大学 |
| ▶ 東京学芸大学 | ▶ 東京国際大学 | ▶ 同志社大学 | ▶ 新潟経営大学 |
| ▶ 日本体育大学 | ▶ 日本大学 | ▶ 立教大学 | ▶ 早稲田大学 |
| ▶ 阪南大学 | ▶ 明海大学 | ▶ 明治大学 | ▶ 桃山学院大学 |
| ▶ 流通経済大学 | ▶ 東京メディカルスポーツ専門学校 | | |

女子

- | | |
|---------------|------------------|
| ▶ INAC神戸レオネッサ | ▶ アルビレックス新潟レディース |
| ▶ 浦和レッズレディース | ▶ ASエルフェン埼玉 |
| ▶ ベガルタ仙台レディース | ▶ ノジマステラ神奈川相模原 |
| ▶ フロリダ州立大学 | ▶ 宇都宮大学 |
| ▶ 大阪国際大学 | ▶ 関東学園大学 |
| ▶ 慶應義塾大学 | ▶ 甲南女子大学 |
| ▶ 産業能率大学 | ▶ 順天堂大学 |
| ▶ 筑波大学 | ▶ 帝京平成大学 |
| ▶ 東洋大学 | ▶ 日本体育大学 |
| ▶ 武庫川女子大学 | ▶ 早稲田大学 |





NIKE FOOTBALL APP

もっと上手くなりたい者たちへ
未来のジブンをここから掴みとれ



iOS, Android対応 / ダウンロード無料

NEYMAR JR

© 2015 NIKE. All Rights Reserved. Nike Japan 0120-6453-77



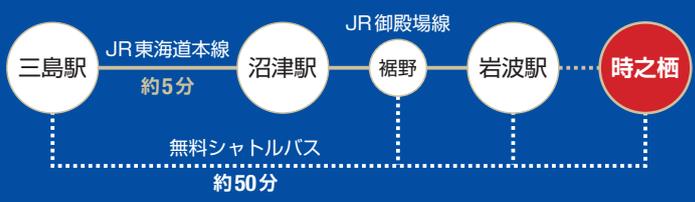
御殿場高原 時之栖
 〒412-0033
 静岡県御殿場市神山719

■電車・バスでお越しの場合



※路線バス
 「須山」または「遊園地ぐりんぱ」行 → 「帝人アカデミー富士前」下車
 ※マイカーでお越しの場合は、東名高速道路「裾野I.C.」で降りてください。
 (帝人アカデミー富士まで「裾野I.C.」から約6分)

■電車・バスでお越しの場合



■マイカーでお越しの場合



公益財団法人 **日本サッカー協会**

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り JFAハウス

お問い合わせ先 公益財団法人 日本サッカー協会 JFAアカデミー事務局
 TEL. 03-3830-1890 / FAX. 03-3830-1814
 対応時間帯：祝祭日を除く月曜～金曜 10:00～17:00

